

2019年度第1回久寺家地区地域会議議事録

1 日時：2019年6月2日（日） 13：30～16：00

2.場所：久寺家近隣センター会議室

3.出席者：13団体26名

久寺家地区まちづくり協議会（8名）、土谷津町会、久寺家マンション自治会（2名）、久寺家三菱自治会、久寺家二丁目自治会、日新自治会、久寺家子ども会、久寺家二丁目子ども会、久寺家三菱子ども会、我孫子市消防団第9分団、北地区社会福祉協議会、久寺家地区民生・児童委員（3名）、社会福祉法人栄興会つくし野荘
我孫子市市民活動支援課、地域会議事務局（2名）（欠席：久寺家自治会）

4.議事内容：

- (1) 座長による開会挨拶
- (2) 市民活動支援課による地域会議に関する主旨説明
- (3) 各参加団体による2019年度活動予定報告（配布の各団体資料により説明）

席上話し合われた主なポイントは下記の通り。

① 各子ども会の現状と今後の取り組みについて

- ・自治会毎に子ども会の有無、参加率の高低、自治会からの資金補助の有無等違いがあり、特に働いていて役員が務められないと加入しない例が増えてきて、地域の活動としての在り方を検討する時期にきている。
- ・子ども会の担い手は子どもの親であったが、共働きなどで加入しない家庭が増える状況を踏まえると、地域全体で担うように取り組む時期に来ている。
- ・まち協主催のイベントには子ども会への入会の有無に拘らず参加できる。
- ・以上を踏まえて、今後子ども会の役割の見直しやまち協との統合如何等につき、各子ども会、自治会及びまち協が連携して地域として総合的に検討する。

② 地域で増える野良猫について

三菱自治会より野良猫が増えているとして対応の依頼があった旨の報告があった。市民活動支援課より、市からの助成（6500円/匹）を受け猫への去勢手術等対策をうつためには「地域ネコ活動」の登録が必要との説明があった。今後対応活動を担ってもらえるボランティア団体や市とも相談しつつ三菱自治会が対応策を進め、地区各自治会に関連情報を提供して共同して対処することとなった。

③ アビバスの運行経路について

日新自治会は高齢化が進み、運転免許を返上すべき世帯も多くなるため、交通が不便な同地域でのアビバスの運行を市に要請中だが、アビバスは路線によっては大きな赤字を抱えている状況もあるのか前に進んでいない。引き続きニーズのある日新地区への路線開設を市に要請する

(4) 地域防災に関する取り組みについて

席上話し合われた主なポイントは下記の通り。

- ① 5/12 開催防災講座は 54 人の出席者であった。理論的には理解しやすい内容だったが、チェックリストやハザードマップも個別地域毎の特徴をおさえた具体的な説明はなかった。次のステップとしては、より実践的な防災を実現していくために各自治会単位で同様講座を行うなど、ハザードマップの確認や必要な防災準備等地域の具体的な防災対策の検討を進める必要がある。
- ② 市の説明では、防災対応は自助が 70%のウエイトであるため、各自治会では「わが家の防災チェックリスト」の継続活用とフォローを行いつつ、20%のウエイトを占めるといわれる「共助」に関し、各自治会ごとの地域特性、住民意向などを踏まえた対応策を、第3回地域会議までに検討することになった。
- ③ 防災のリーダーは各自治会長ではあるが、任期は1年しかなく、防災上何をやるべきかを明らかにして人が代わっても継続的な取り組みができるようにする必要性が共有された。
- ④ 北地区社協より、ささえあい活動の一環で、避難場所に指定されている中央学院大学に、災害時に高齢者避難などに同大学生の人的支援をお願いできないか申し入れているとの報告があった。

(5) その他

- ① 側溝のフタが一部未整備な現状については、市道路課が次回発注時に不足分も併せて発注するとのことであった。
- ② 自治会長の引き継ぎ書類には、住民署名簿等個人情報を含む古い資料が多くある。適切な処分を実施したいので市に方法の検討を依頼。
- ③ 地域活動費として市から年 10 万円の補助があるので、補助が必要な団体（基準 1 件 1 万円まで・内容により増額は可能）は事務局まで申請願いたい。

以上